

# 道

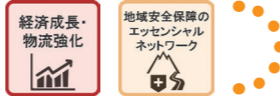
## 道路事業

### 南予の道づくりの取り組み

# 未来を見すえ、地域ニーズに合わせた道づくりを進めます。

道路整備を効率的に進めるには、現在の道路の問題点を把握し、効率よく問題点を解決する方法を考える必要があります。

## 1 信頼できる幹線道路ネットワークの確保



四国西南地域では、慢性的な渋滞や道路の線形不良のため、救急車の走行速度が低く、第三次医療機関への60分アクセスが達成できていない地域も存在します。また、日常生活でも地域間交流等に支障をきたしています。一方、南海トラフ巨大地震が今後起こると予想されていますが、緊急物資の輸送や、救急医療施設への搬送に欠かせない、安全性と信頼性の高い道路が十分に整備されていません。

■津波による浸水箇所及び最大津波高



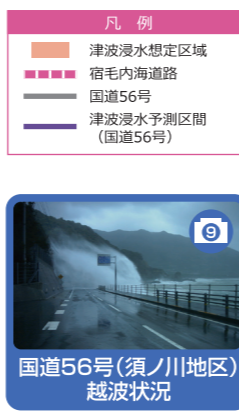
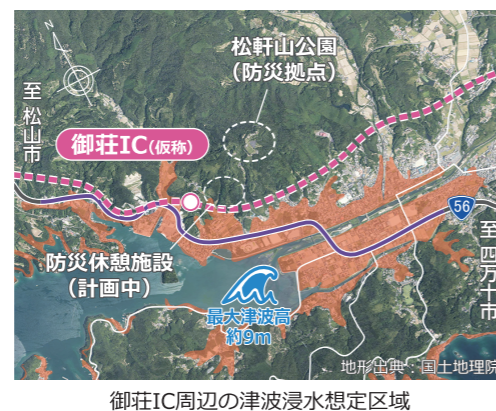
安全性・信頼性の高い高規格道路(四国8の字ネットワーク)※を整備する必要があります。

## 整備効果 1 防災機能の強化・災害に強いまちづくりを支援

● 浸水する国道56号に代わり、浸水しない高さを確保した津島道路・宿毛内海道路により、愛媛・高知両県から愛南町・宿毛市への支援ルートを確認し、円滑な救援活動・物資輸送に寄与します。



● IC周辺の防災拠点を中心に、沿線地域の連携を強化し、防災まちづくりの促進に寄与します。



※「四国8の字ネットワーク」とは、四国4県を結ぶ将来の高速交通ネットワークの愛称です。この高速道路ネットワークが「8の字」を描くことから名付けられました。

## WISENET World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered NETWORK

“2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステム”をWISENET(ワイズネット)と位置づけ、その実現のための政策展開により、新時代の課題解決と価値創造に貢献します。



## 2 人に優しい歩行空間の確保

大洲河川国道事務所が管理する南予地域※1における直轄国道の死傷事故率※2は、12.4件/億台キロで、同地域の直轄国道を除く県道以上※3の死傷事故率6.4件/億台キロに対し、約1.9倍も高い値となっています。また、歩道等の整備も十分ではない箇所、急カーブや急勾配等、道路線形の良くない箇所が存在しています。

※1：宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町の4市5町  
 ※2：ある1km区間を自動車1億台が走行した時に、その区間内で死傷事故が発生する割合(事故データはR2~R5平均値)  
 ※3：ここでは、高規格道路(NEXCO管理区間を除く)、国道、主要地方道、県道のうち、当事務所が管理する直轄国道を除く道路のことをいう。

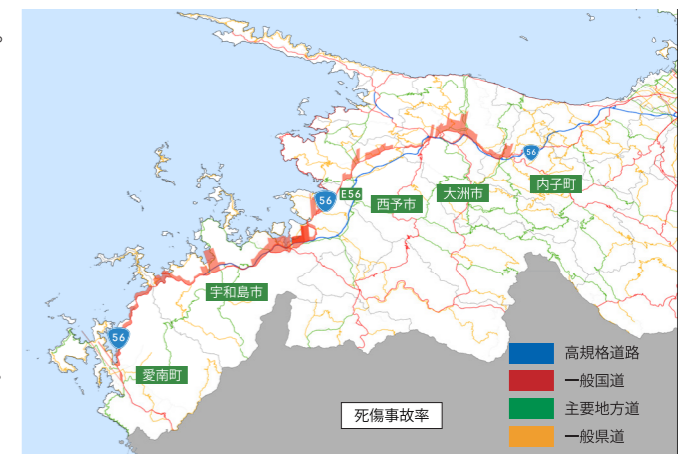
### 課題として

- ・死傷事故率を減少させ、安全安心な地域社会にする必要があります。
- ・交通渋滞が発生している箇所では、事故が発生するリスクが高まるため、交通渋滞を緩和し、交通事故の減少を図る必要があります。
- ・歩道等の未整備区間解消など、交通弱者対策が必要です。

### 解決策として

- ・宿毛内海道路、津島道路、嵐視距改良、八幡浜神社前交差点改良等を推進し、渋滞の緩和、交通容量の拡大、線形改良等を図ります。
- ・交通弱者対策として、宇和島市寄松地区等の歩道整備を推進します。

●南予地域における高規格道路、国道56号の死傷事故率(死傷事故が発生する割合が高い程グラフが高い)



## 整備効果 2 観光振興や産業振興に寄与

● 都市部から県境を跨いだ地域へのアクセスを強化し、観光地への移動時間短縮や工業流通団地等への輸送効率化を図ることで、観光・産業の振興が期待されます。

### 愛南町・宿毛市の特産品



### 所要時間の短縮効果

